

事業番号	9	事業名等	津山私学教育振興事業補助金
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課 教育総務課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	0	
民間が実施	1	<ul style="list-style-type: none"> ・私学の生徒数確保という課題は、少子化の現実の中で仕方ないのでは。 ・生徒募集活動費がなぜそれほど必要なのか、活動費の内訳を知りたい。
国・県・広域行政が実施	0	
市が実施(要改善)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・募集活動中心の助成は減らすべき。 ・私学それぞれが努力して学生を確保するべき。 ・はっきりした事業に対して個別に補助金を交付するべき。 ・産学官連携などの地域事業への直接補助の形態にするべき。 ・技術やスポーツ振興のために使うべき。 ・補助金の終期を決めるべき。少子化で生徒数減少の中で拡充は必要なし。 ・津山市で育った人が、津山市で働けない現状は心苦しく残念に思う。 ・市や県がするべきことは、少子化への対応や県立高校の統合ではないか。 ・作陽音大移転を反省するべし。交通の利便性の向上を。 ・市民と協働できることを。 ・内容を充実し、県外からもどんどん入学できるようお金を使うべき。 ・恩恵を受けている民間事業者からも補助を募るべき。 ・なぜ市民や近隣の学生が少ないかを考えるべき。 ・ニーズの高い学部や学科を考えるべき。
市が実施(現行どおり)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおりで良いが、用途が不適切な感じである。 ・不登校や通信制、子供のスポーツ活動など地元の子供達の活動に使うべき。
市が実施(拡大・充実)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツで全国的に有名になってきているので、その出身地としてPRする。 ・他市では私学の必要性を認識し、もっと補助している自治体もある。 ・金額は増やして、上限を決めて申請により交付するべき。 ・特色ある学校が求められている。学校カラーを支援できる体制が必要では。 ・特定の学校に補助するなら、内訳ははっきりさせるべき。

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評

私学の重要性としては、ある時にはまちづくりは企業誘致が優先され、その次は大学誘致である。その地域に知的な財産があることは非常に重要である。そのことが地域に波及効果をもたらすが、市民に十分伝わっていないことがこの仕分け結果だと思う。私学の果たしている役割を協議会で議論して、教育の持っているまちへの貢献を色々な角度で市民に働きかける。教育だけの観点で学校を見ずに、地域の産業、文化や福祉にもつながっていることを行政として広報していくことが必要である。皆で教育を育てる土壌がまだできていないように感じる。過去に音大が出て行ったことの反省が十分できていないのではないかと。反省のもとにできた補助金であるならば、教育がもつ地元への効果をもっと市民に知らせることが必要である。